



## 新旧交代の時期を迎えて

12月に入り、急激に寒くなりました。近年は、「秋が短い。夏から急に冬に変わる。」と言われます。急な気温の変化に、体調を崩さないよう気を付け、健康な毎日を過ごしたいものです。これから流行することが予測されるインフルエンザに対しても、休み時間に窓を開け、換気をするなど、対策を講じています。

2学期も終盤を迎え、いよいよ新旧交代の時期を迎えます。

11月19日(火)には3年生は、保護者を迎え、生徒と保護者対象の進路説明会を行いました。受験の日程から受験手続きについて説明しました。進路説明会を受けて、11月25日(月)～27日(水)の3日間、午後の時間を使って、三者懇談を行いました。これで受験校が決まりました。これから3年生は、具体的な目標が決まりましたので、志望校合格に向けて、気持ちをその一点に集中して取り組むこととなります。目標達成に向け、精一杯頑張りたいと思います。学校としましても3年生の自己実現に向け、最大限支援してまいります。

3年生が受験体制に入るため、2学期末で生徒会役員が交代となります。12月6日(金)には、令和7年の新生徒会役員を選出する、立ち会い演説会並びに生徒会役員選挙が行われました。今年は、1・2年生総勢、19名が立候補し、昨年以上の盛り上がりを見せました。12月2日(月)から当日まで、朝早くから正門付近と昇降口前で選挙活動が行われました。立候補した生徒は登校する生徒に積極的にアピールを繰り返していました。立ち会い演説会では、立候補者それぞれが右田中に対する思いや、自分が実現したいこと、そのための取組等を、「公約」としてまとめ、強弱をつけたり身振り手振りを交えたりしながら創意工夫して、訴えていました。最終的にはこの中から8名が選ばれることとなりますが、「右田中学校をもっと良くしていきたい。そのためにこんなことをしたい。」と思っている生徒がたくさんいることは、ほんとうにうれしい限りです。そして立候補した生徒がこれだけでもいることに頼もしさを感じます。生徒会役員選挙を通して、学校教育目標である、生徒の「自主・自立」が着実に育っていることを感じました。新たな右田中生徒会に大いに期待できると感じました。立ち会い演説会の後は、防府市選挙管理委員会から実物の投票箱や記載台を借りて、本格的に投票を行いました。近い将来有権者となるので、生徒会役員選挙を通じて、将来的な主権者としての意識や知識を身に付ける良い機会となりました。



▲【演説の様子】▼



【選挙管理委員による投票の説明】



【投票の様子】

## 【選挙管理委員長より】 3年 佐保 有紗 さん

この度、選挙管理委員長を務めてみて、選挙の裏側で運営として働く人のたいへんさや、一人ひとりの一票の大切さを知ることができました。3年後には私も有権者になるので、「選挙について改めて考えよう。」と思うことができました。自分自身にとっても、とてもいい経験になりました。

## 地域連携教育

地域連携教育の取組として、11月には「寝たきり高齢者介護者訪問ボランティア」を、12月初旬に「玉祖防災DAY応援ボランティア」を行いました。この2つを紹介します。

### 寝たきり高齢者介護者訪問ボランティア

右田地区社会福祉協議会が毎年実施している、「寝たきり高齢者介護者訪問」に本年度も右田中生徒20名がボランティアとして参加しました。11月2日(土)に実施しましたが、雨の中での訪問となりました。9時30分に本校体育館会議室において出発式を行い、いくつかのグループに分かれて、寝たきりの高齢者の介護をされている方々のご自宅を訪問し、労をねぎらうと共に、激励しました。参加した本校生徒は、心を込めて、感謝と激励のことばを述べ、プレゼントを渡しました。閉会式では、最後にボランティア手帳に「証明印」を押してもらいました。



【出発式】



▲【介護者宅を訪問する様子】▲

#### 【参加した生徒の感想】 3年 山下 優奈 さん

高齢者の介護をされている方の家を訪ね、お話をすることで、今までまったく関わったことのない介護について知ることができました。私が「たまには休んでください。」と言うと、とても喜んでくださったのがうれしかったです。介護は毎日忙しくてたいへんな仕事なので、体に気を付けてほしいと思いました。寝たきり高齢者を介護されている方を訪問し、介護について、もっと知りたいと思いました。

### 玉祖防災DAY応援ボランティア

12月7日(土)午前10時から玉祖福祉センターにおいて、「玉祖防災DAY2024」が開催され、10名の生徒がボランティアとして参加しました。テントの設営や避難受付場所の設営・避難所受付体験、炊き出しの手伝い、食事会場の準備や片付の手



【人工衛星とスマホをつなぐ様子】

伝いを行いました。途絶えたときの電気の確保の方法や、衛星通信を通じての災害情報



【炊き出し】



【避難所受付】



【食事場所の準備】

のキャッチの仕方、炊き出しや避難所の受付がどのように行われているか等、学ぶことができました。また、生徒にとっては、自然災害が多い昨今、災害が起きた場合の人々の協力体制について学ぶよい機会にもなった様子でした。

#### 【参加した生徒の感想】 3年 磯邊 優凧 さん

今回のボランティアでは、テントの設営や避難所の受付、炊き出し、食事会場準備、人工衛星とスマホをつなぎ、災害情報をキャッチする仕事のお手伝いをしました。防災の大切さについてより深く学ぶことができ、消防署の方々に災害時の対応についても教えていただいたので、この経験を生活に生かしていきたいと思います。